

2 參考資料

活動支援プログラム ①災害図上訓練（DIG）で防災力を高めよう！

Disaster（災害）Imagination（想像）Game（ゲーム）の頭文字を取って名づけられたもの。参加者は大きな地図を囲み、地域の想定災害や危険箇所、避難経路を地図上に書き込み、地域の災害に対する強さや弱さを知ること、災害時の具体的な対応をイメージすることができます。地域で頼りになる方は？手助けが必要な方は？災害時に必要な行動を話し合ってみよう。

●準備するモノ

- ・地域の地図（A0）
- ・付箋紙（大・中）
- ・丸シール（カラー）
- ・透明シート
- ・油性マジック（カラー）
- ・ベンジン
（または液体消炎鎮痛剤）
- ・ハザードマップ

●地図への書き込み（例）

鉄道	黒色	道路	茶色
河川・水路等	水色	医院・診療所	紫色
の水利施設	水色	薬局	紫色
指定避難所	緑色	緊急時に物資	桃色
公園、神社仏閣	緑色	が購入できそう	桃色
広い駐車場など	黄緑	な店	

●進め方

- 風水害や地震など災害の種別を決定し、被害状況をイメージする。
- 地図上に透明シートを載せる。
- 風水害の場合、ハザードマップを参考に、浸水範囲や土砂災害の危険箇所などを油性マジックで透明シートの上から地図に記入する。
- 書き間違えた場合は、ベンジン等を使って消し、書き直す。
- 参加者がそれぞれの自宅から避難ルートを記入し、避難経路を確認する。
- 「避難場所が安全か」「どのように確認するか」「正しい情報をどのように得るか」を話し合う。
- 話し合った内容を発表し、参加者で共有する。



ワンポイント アドバイス

- ▶ 透明シートの上に避難経路を書き込みます。倒壊のおそれのある建物等を回避できる避難経路を複数考えてみましょう。
- ▶ 近隣の住民同士の声かけが、避難行動を促す要因となります。
- ▶ 逃げ遅れないためには、何をすべきか、日頃から考えておきましょう。



活動支援プログラム ②防災マップを作ってみよう！

●準備するモノ

- ・地域の地図 (A3・A0)
- ・まち歩きチェックリスト
- ・カメラ
- ・筆記用具
- ・バインダー
- ・付箋紙 (大・中)

●調べるチェックシート (例)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| ◎安全な場所 | ★災害時に役立つ場所 | ▼危険な場所 |
| ・指定避難所 | ・消火栓 | ・狭い道 |
| ・避難できそうな場所 | ・消火器 | ・行き止まり |
| ・広い駐車場 | ・防火水槽 | ・水路 |
| ・公園 | ・井戸 | ・危険な斜面 |
| ・高台 など | ・消防機庫 | ・ブロック塀 |
| | ・公衆電話 | ・瓦屋根 |
| | ・防災倉庫 など | ・大きな看板 など |

●進め方

- 地図 (A3サイズ) を持ってまち歩きを行う。
- 地域内の危険な場所や役立つモノを見つけ、地図に記入し、写真に撮る。
- まち歩き後、作業会場で見つけた公園や消火栓などを大きな地図 (A0サイズ) に記入する。
- 道路や線路、用水路、ため池などを塗りつぶす。
- 地図の周りに撮影した写真を貼る。

【ポイント】

- ✓防災の視点を持って、普段何気なく歩いている場所を歩くことにより、地域の強みや弱みを発見することができる。
- ✓災害時に役立つ商店や企業を見つけ、連携を図ることにつなげる。
- ✓災害時に力になってくれる人や手助けが必要な方などについても話し合う。



■凡例のピクトグラム例

凡例		指定避難所		公園		消火器		防災倉庫		掲示版
		指定広域避難場所		病院		防災無線		危険箇所		交番
		避難できそうな場所・集会所		役に立つ施設		水路		危険区域		公衆電話
		空き地		消火栓		防火水槽		土嚢置き場		ガリINSTAND
		駐車場		ホース格納庫		消防機庫		ゴミステーション		



ワンポイントアドバイス

- ▶実際の避難は、夜間や悪天候時になることがあります。
- ▶まち歩きでは、避難場所まで安全に歩いて行けるか、避難経路を確認しておきましょう。

活動支援プログラム ③ 避難所運営ゲーム（HUG）をやってみよう！

災害が発生すると、被災者の多くが、長期にわたり避難所で避難生活を送ることが想定されます。避難所運営ゲームは、Hinango（避難所）Unei（運営）Game（ゲーム）の頭文字を取って名づけられたものであり、みんなで避難所運営について考えるためのツールとして静岡県が開発したものです。

HUGは避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また、避難所で起こるさまざまな出来事にどのように対応していくかを模擬体験するゲームです。

●準備するモノ

- ・HUGのカードセット
- ・小学校などの避難所の校舎と体育館の平面図
- ・油性マジック（カラー）
- ・付箋紙（大・中）
- ・ベンジン
（または液体消炎鎮痛剤）

●避難所運営ゲームの目的

- ・避難所運営を模擬体験することで、事前に何をすべきか、何を考えておくべきかを体験できます。
- ・緊急性のある事案について、短時間で判断し、処理する対応力を身につけます。
- ・関係者で合意形成する訓練となります。

●進め方

- カードを読み上げる人、進行役、書記、発表者を決めて始める（途中交代可）。
- カードは全部で250枚。世帯番号1から順番に読み、体育館と校舎の平面図にカードを配置していく。
- 短時間で判断し、処理する対応力を身につけることを目的としているため、次々に避難者が来ることを想定し、スピード感を持って進める。
- さまざまな問題を抱えた避難者がやってくる。緊急性を求められることもある。
- カードの中に「イベントカード」が入っている。緊急性が求められる事案が次々と出てくるため、避難所運営本部としてさまざまな対応が求められる。
- トレイはどうか、ペットはどうかなど、判断に困ることも話し合いで対応を決める。



ワンポイント アドバイス

- ▶ 地域の避難所として活用する施設の図面を使って行くと臨場感が出ます。
- ▶ 受付や掲示板の位置、避難者カードなどについても話し合いましょう。
- ▶ 避難者の中には、高齢者など、配慮を必要とする方もいます。みんなにやさしい避難所を考えましょう。

●●●市●●地区 地区防災計画作成スケジュール

項目	令和4年度																																
	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
●●地区 部会	<p>■日程調整 どちらか(●●地区役員及び●●先生の日程調整が必要)</p>																																
第1回 講話、SWOT分析等						6/26																											
第2回 【先行】まち歩き・防災マップ作成(●●町・●●1-3丁目)																																	
第3回 【先行】防災マップ発表(●●町・●●1-3丁目)、組織・連絡体制の構築依頼															9/4																		
第4回 午前：連絡訓練、午後：訓練結果報告会																																	
第5回 地区毎の防災マップの発表																																	
第6回 計画骨子(案)の発表																														1/22			
事業別スケジュール	<p>■進め方 【先行】まち歩き・防災マップ作成の前に、7/5_打合せの際に疑義が出た内容について、整理が必要か？または、実施後、役員のみで部会を開催し、●●先生に防災マップの在り方を相談するか？</p> <p>■進め方 防災マップ・組織作成以外に「地区タイムライン」、「地域の特性や災害リスク」などに●●先生をお呼びした部会の開催は必要か？</p>																																
1 まち歩き・防災マップ実施計画	<p>■7/5_打合せでの(まち歩き・防災マップ作成関係)疑義 ・まち歩きと防災マップ作成は、防災意識向上へのとっかかりの部分として作成したい意見としっかりとした精度あるものを作成したい意見がある。 ・防災意識の向上を目指すなら、水害、地震等の災害種別を絞らず作成するのか、水害と地震では、視点が異なるため、災害種別を絞ったほうがよいのか？ ・古い建物や個人宅の塀が危険等の記載はしないなど、ルールづくりも必要？ ・地区ごとで防災マップの精度に差が出て問題ないか。地区住民が作成した防災マップを役員が、再度まち歩きをして補足しないといけないか。補足すると作成した地区と誤解を生じかねないか。</p>																																
1-1 実施内容、規模の決定																																	
1-2 会場下見・仮予約																																	
1-3 日程決定																																	
1-4 会場予約																																	
1-5 【先行】まち歩き・防災マップ作成(●●町・●●1-3丁目)																																	
参加依頼文(案)作成及び配布																																	
まち歩き・防災マップ作成実施																																	
1-6 参加依頼先(動員数の想定)との調整																																	
1-7 発表会への参加依頼文(案)作成及び配布																																	
1-8 資機材等の手配																																	
1-10 【先行】防災マップ発表会																																	
1-11 各地区でのまち歩き、防災マップ作成イベント																																	
1-12 各地区での防災マップ取りまとめ																																	
1-13 地区毎の防災マップの発表																																	
1-14 まち歩き(●●小学校)																																	
1-15 イベントと小学校結果の突合																																	
	<p>■進め方 ・8月上旬に、先行して「●●町」、「●●1・2・3丁目」において、まち歩きと防災マップの作成 ※早朝からまち歩きを実施し、午前中に防災マップまで作成するスケジュール ・9月上旬の部会で防災マップを発表し、10・11月に各地区でまち歩きと防災マップの作成を行う(役員や防災士はファシリテーターとして参加) ・各地域へ地域での防災活動への取組の必要性を訴え、防災の組織づくりへつなげる ■狙い(先行して実施する) ・防災マップの作成の目的設定のための情報収集を行う</p>																																

●●●市●●地区 地区防災計画作成スケジュール

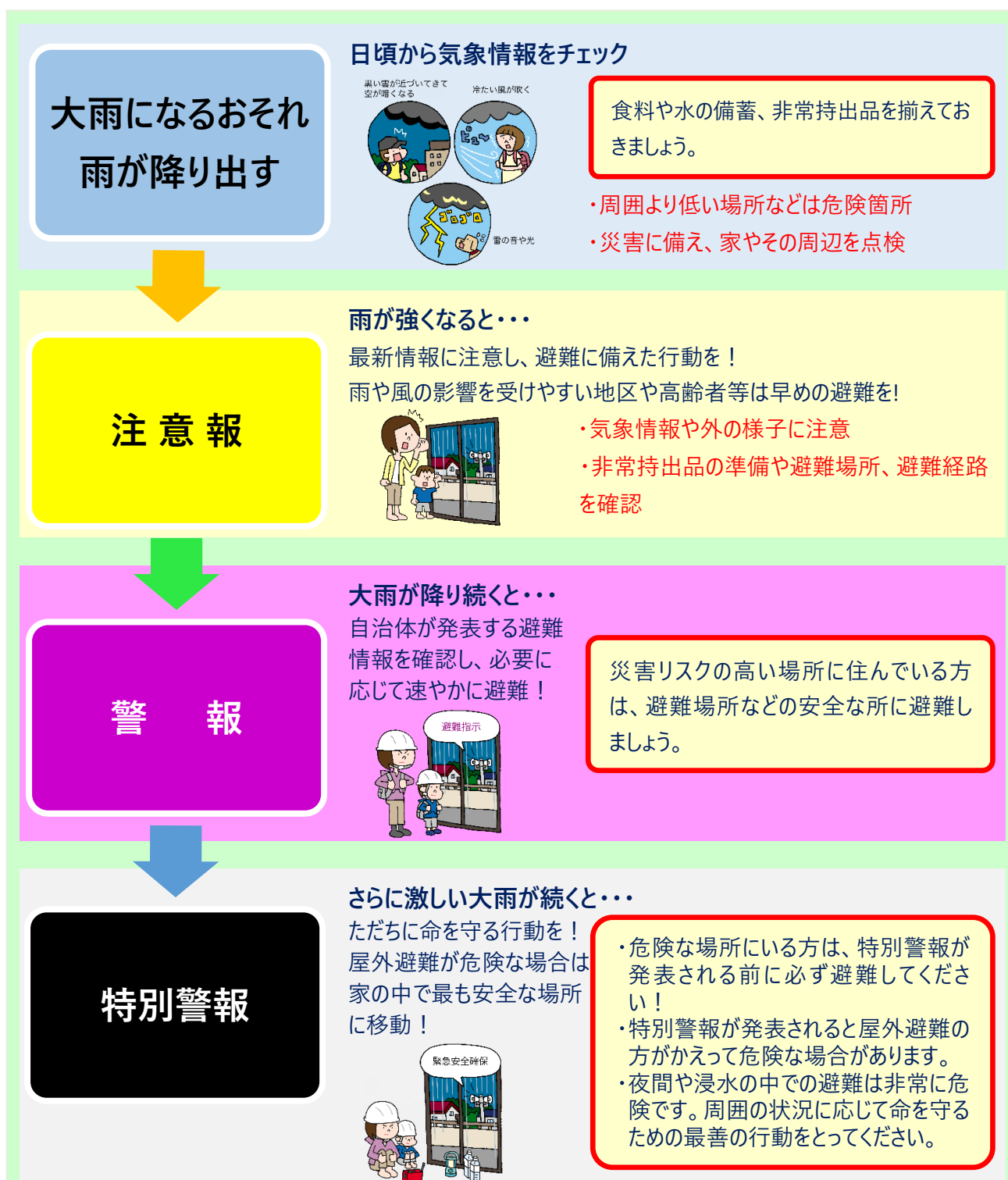
項目	令和4年度																																
	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
2 組織・連絡体制の構築計画	<p>■課題等 ・地区社協、町内会等の既存組織があれば、準用するのが得策か。 ・町内会により、役員改選の年数が異なる場合は、運用を統一するか、各町内会の運用に従うのか。 ・メリット・デメリットを検証し、体制整備を行う。 ・唐突に各地区へ組織・連絡体制の依頼をしても、うまく回らない地区が出ると思われるため、9月初旬にまち歩きと防災マップ作成への参加を通じ、機運を高めてから依頼を行う。 ・できれば、組織体制と連絡網を作成後、年内に避難連絡訓練を行い、検証後、次回からの改善案を提示できればベスト。</p>																																
2-1 組織・連絡体制の研究																																	
2-2 組織・連絡体制(案)作成																																	
2-3 依頼文・報告様式(案)作成																																	
2-4 地区社協、町内会役員等への根回し																																	
2-5 組織・連絡体制図の作成依頼																																	
2-6 依頼文・報告様式の配布																																	
2-7 各地区での組織・連絡体制の構築																																	
2-8 避難連絡訓練の計画																																	
2-9 避難連絡訓練実施の周知																																	
2-10 避難連絡訓練の実準備																																	
2-11 避難連絡訓練の実施																																	
2-12 訓練実施結果の報告																																	
2-13 検証及び改善案の提示																																	
3 計画素案の作成	<p>■目標 ①組織・連絡体制の整備 ⇒ 避難連絡訓練を実施し、整備した組織体制と連絡体制の検証を行う。 ②地区の特性、強み、弱みを知る ⇒ SWOT分析、まち歩きと防災マップの作成を通じて、地区の特性と予想される災害リスクをまとめる。 ■進め方 ・「各町内会の特性、強み、弱み」については、SWOT分析、部会及び小学校でのまち歩きの結果を反映 ・「地区タイムライン」については、「地区の特性と予想される災害」と「防災マップ」から内容を検討し、新たに整備する緊急連絡網の運用を盛</p>																																
3-1 計画骨子(案)																																	
3-2 基本方針																																	
3-3 地区の特性と予想される災害																																	
3-4 各町内の特徴、強み、弱み																																	
3-5 組織図																																	
3-6 緊急連絡網(電話、LINE等)																																	
3-7 地区タイムライン(簡易版)																																	
3-8 防災体制																																	
3-9 防災マップ																																	
3-10 避難場所候補リスト																																	
3-11 防災訓練																																	

地区防災計画の項目検討（主要地区の計画比較）

地区名	津山市城西地区 (岡山県)	長野市長沼地区 (長野県)	大洲市三善地区 (愛媛県)	松山市高浜地区 (愛媛県)	計画作成例 (熊本県)	■■市■■地区 (岡山県)			
策定主体	城西 まちづくり協議会	長沼地区 住民自治協議会	三善自治会、三善 地区自主防災組織	高浜地区 自主防災連合会	-	■■■協議会			
災害リスク	水害（内水氾濫 を含む）、土砂災 害、地震、暴風	河川氾濫、堤防決 壊、浸水、液状化 等	内水氾濫、土石流、 地すべり	浸水（津波・豪 雨）、高潮、土石 流、がけ崩れ等	-	浸水想定区域（洪水・津波）、土砂災害警戒区域 （急傾斜）、南海トラフ巨大地震 最大震度6弱 想定			
						話し合いの結果 (項目に・・・)	現在の状況 (検討・作成状況)		
計 画 項 目	基本方針	●	●	●	●	<input type="checkbox"/> 入れる <input type="checkbox"/> 入れない	<input type="checkbox"/> 未	<input type="checkbox"/> 済	
	計画対象地区と 避難所及び策定主体 地区の特性と	●			●	<input type="checkbox"/> 入れる <input type="checkbox"/> 入れない	<input type="checkbox"/> 未	<input type="checkbox"/> 済	
	予想される災害 各町内会の特徴、 強み、弱み	●	●	●	●	<input type="checkbox"/> 入れる <input type="checkbox"/> 入れない	<input type="checkbox"/> 未	<input type="checkbox"/> 済	
	組織図	●		●	●	<input type="checkbox"/> 入れる <input type="checkbox"/> 入れない	<input type="checkbox"/> 未	<input type="checkbox"/> 済	
	緊急連絡網	●	●		●	<input type="checkbox"/> 入れる <input type="checkbox"/> 入れない	<input type="checkbox"/> 未	<input type="checkbox"/> 済	
	災害対策配備フロー (タイムライン)	●				<input type="checkbox"/> 入れる <input type="checkbox"/> 入れない	<input type="checkbox"/> 未	<input type="checkbox"/> 済	
	避難所 運営マニュアル	●		●	●	<input type="checkbox"/> 入れる <input type="checkbox"/> 入れない	<input type="checkbox"/> 未	<input type="checkbox"/> 済	
	防災体制	●	●	●	●	<input type="checkbox"/> 入れる <input type="checkbox"/> 入れない	<input type="checkbox"/> 未	<input type="checkbox"/> 済	
	組織規約	●				<input type="checkbox"/> 入れる <input type="checkbox"/> 入れない	<input type="checkbox"/> 未	<input type="checkbox"/> 済	
	防災マップ	●	●	●	●	<input type="checkbox"/> 入れる <input type="checkbox"/> 入れない	<input type="checkbox"/> 未	<input type="checkbox"/> 済	
	防災資機材の確保、 物資の備蓄	●	●	●	●	<input type="checkbox"/> 入れる <input type="checkbox"/> 入れない	<input type="checkbox"/> 未	<input type="checkbox"/> 済	
	その他	○町内別受付簿 ○避難所入所者 カード ○避難所全体図 (西小学校) ○西小学校教室 配置図 ○避難所 配置想定図 ○見守り台帳	○地区災害対策 本部設置基準 ○活動体制 ○防災関連施設・ 設備 ○自主防災訓練 の実施 ○資機材の点検 ○災害に関する 協定一覧 ○災害時広域的 一時利用施設 等 ○防災機関に求め る対応措置 ○地区避難ルール ブック（別冊）	○ハザードマップ ○災害危険箇所 位置図 ○防災知識の 普及・啓発 ○避難行動 要支援者対策 ○防災訓練 ○人材育成 ○情報収集・ 伝達活動 ○避難誘導活動 ○避難行動 要支援者の 避難支援 ○救出・救護活動 ○出火防止・ 初期消火活動 ○避難所 開設・運営 ○炊き出し等 ○活動目標と 推進計画 (5カ年)	○平常時の活動 ○発災直前の 活動 ○災害時の活動 ○復旧・復興期の 活動 ○市、消防団、 各地域団体、 ボランティア等 との連携 ○防災訓練の 実施・検証 ○防災意識の 普及啓発 ○計画の見直し ○チェックリストの 作成と検証 ○自治体、気象台 からの避難情報 ○防災調査の 基本事項 ○自然災害への 対応策 ○災害時の 情報収集 ○法令関係 (災害対策 基本法) ○防火水槽の 取扱い ○避難所の開設・ 運営の手順、 避難所配置図 ○防災カルテ ○防災 チェックシート ○土砂災害 警戒区域図	○活動目標 ○平時の防災 活動 (スケジュール) ○災害時の 防災活動 ○中長期的に 取り組む事項 ○ハザードマップ の活用 ○危険箇所、 防災設備、 要配慮者の 把握 ○避難所位置や 避難経路 ○避難所リスト ○関係機関等 連絡先リスト ○保有防災 資機材リスト ○水害・地震版 タイムライン	<input type="checkbox"/> 入れる <input type="checkbox"/> 入れない	<input type="checkbox"/> 未	<input type="checkbox"/> 済

災害が起きるとき — 風水害・土砂災害編 —

集中豪雨や大雨が発生すると、洪水や土砂災害が起こる危険性が高まるため、注意が必要です。災害から命を守るため、気象台が発表する特別警報・警報・注意報や気象情報など、最新の防災気象情報の入手に努めましょう。



また、安全かつ迅速に避難をするためには、想定される災害の種類、土石流やがけ崩れの予兆現象も知っておきましょう。

■土砂災害・・・がけ崩れや地すべり、土石流など、集中豪雨や大雨が引き金となつて、山や崖が崩れたり、土砂が流れこむ自然災害です。

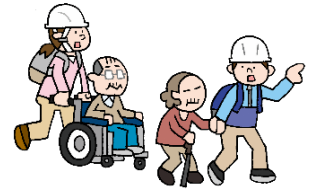
 <p>がけ崩れ 大雨が降ったり、地震が発生した時に、地盤が緩んで突然崩れること。</p>	 <p>地すべり 緩やかな坂で粘土のように滑りやすい土に雨がしみ込んで地面が動くこと。</p>	 <p>土石流 長引く雨や台風の大雨で山や谷の地面の土や石が一気に流されること。</p>
---	---	--

■災害発生の予兆

 <p>がけ崩れ がけから水がしみ出してきたときは要注意。がけのひび割れも予兆です。</p>	 <p>地すべり 沢や井戸の水が濁ってきたときは注意。地面のひび割れやへこみも要注意です。</p>	 <p>土石流 雨が降り続けているのに水位が下がるときや山鳴りがしたら避難しましょう。</p>
--	---	---

警戒レベルと避難情報（風水害の例）

警戒レベルは危険度に応じて5段階あり、市町村が発令する避難情報は警戒レベル3～5に該当します。また、気象台や岡山県が発表する防災気象情報も参考にしましょう。

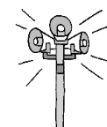


警戒レベル	避難情報 (市町村が発令)	防災気象情報 (気象台や都道府県 が発表)	住民が 取るべき行動	
5	緊急安全確保	氾濫発生情報 大雨特別警報	命の危険 直ちに安全確保！	
～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～				
4	避難指示	氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等避難	氾濫警戒情報	大雨警報 洪水警報	危険な場所から 高齢者等は避難
2	—	氾濫注意情報	大雨注意報 洪水注意報	自らの避難行動 を確認
1	—	—	早期注意情報	災害への心構え を高める

- ※1 警戒レベル5は市町村が災害の発生・切迫状況を確実に把握できるとは限らない等の理由から、必ず発令される情報ではありません。
- ※2 警戒レベル3では、高齢者等以外の方も必要に応じて、普段の行動を控えたり、危険を感じたら自主的に避難してください。
- ※3 防災気象情報は一例です。

■避難するときのポイント

- ✓ 災害が発生する可能性が高まったとき、市町村は避難情報を発令します。最新情報を入手し、冷静に判断して安全かつ迅速に避難しましょう。
- ✓ 避難するときは、まず、自分自身や家族の身の安全を確保しましょう。高齢者や障害のある方などの要配慮者の支援に気を配る共助の姿勢も大切です。



■避難情報に注意し、避難行動を迅速に！

避難情報	警戒レベル3	警戒レベル4
	高齢者等避難	避難指示
発令時の状況	・災害が発生するおそれがある状況	・災害が発生するおそれが高い状況
避難行動	<ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所にいる高齢者等の要配慮者は避難 ・その他の人は非常持出品の用意や家族等への連絡など、避難準備の開始や自主的に避難 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所にいる人はその場から全員避難 ・指定緊急避難場所や安全な場所へ移動する「立ち退き避難」（水平避難）が原則であるが、状況に応じて、屋内の安全な場所にとどまる「屋内安全確保」（垂直避難）も検討
避難先	・指定緊急避難場所だけでなく、親戚や知人宅への避難も可	

■避難するときは・・・

- ✓ 自らの判断で避難行動をとるのが大原則です。自分の命は自分で守るという「自助」の意識で行動しましょう。
- ✓ 災害の状況によっては、事前に確認しておいた指定緊急避難場所や避難経路が危険な場合もあります。冷静に判断し、臨機応変に行動しましょう。
- ✓ 高齢者等避難や避難指示等の対象区域は目安です。対象外区域にいても身の危険を感じたら、安全な方法で避難しましょう。

避難行動判定フロー

■避難行動を事前にチェック 自分の命は自分で守る！

①ハザードマップで自宅を確認！

→ 自宅のある場所に色が塗られている？

※ハザードマップは、浸水や土砂災害等が発生するおそれの高い区域を着色した市町村作成の地図です。
着色されていないところも災害が起こる可能性があることに留意

岡山防災マップ

はい

いいえ

危険！ 原則、自宅外に避難が必要

[例外]

次の条件を満たせば、浸水の危険があっても自宅
で安全確保する「在宅避難」も可

- ▶ マンションの上階など、浸水する深さより高い場所にいる。
- ▶ 水や食料の備えが十分であり、水がひくまで我慢できる。

色が塗られていなくても、**周り比べて低い土地**や崖のそば等に住んでいる方は、市町村が発令する避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

②自分または一緒に避難する方が避難に時間がかかる？

はい

いいえ



③身を寄せられる親戚や知人がいる？

③身を寄せられる親戚や知人がいる？

はい

いいえ

はい

いいえ

警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されたら、高齢者や介助の必要がある方など、避難に時間がかかる方は、安全な親戚や知人宅に避難

警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されたら、高齢者や介助の必要がある方など、避難に時間がかかる方は、避難場所に避難

警戒レベル4「避難指示」が発令されたら、全員、安全な親戚宅や知人宅に避難

警戒レベル4「避難指示」が発令されたら、全員、避難場所に避難

防災情報の入手

災害時はいち早く正確な情報を入手することが大切です。
自治体の防災情報メールへの登録など、いざというときに必要な情報を取得できるよう、十分な備えをしましょう。



■テレビ

デジタルデータ放送（リモコンの「d」ボタンを押す）からリアルタイムで情報を入手できます。

- ▶放送事業者：NHK岡山
- ▶発信情報：気象情報、河川水位や潮位等の観測情報、避難情報、土砂災害警戒情報など

■パソコン

○岡山県総合防災情報システム「おかやま防災ポータル」

県内の気象情報（注意報・警報、気象レーダー等）、雨量情報、土砂災害警戒情報、河川水位情報、河川カメラ情報等をリアルタイムで確認することができます。

- ▶検索サイト： 「おかやま防災ポータル」を選択
- ▶URL入力：<https://www.bousai.pref.okayama.jp/>



○岡山県防災マップ

洪水、土砂災害、地震による危険度情報や市町村のハザードマップ一覧を掲載しています。

- ▶URL入力：<https://www.gis.pref.okayama.jp/bousai/>

■携帯電話・スマートフォン

○岡山県総合防災情報システム「おかやま防災ポータル」

県内の気象情報（注意報・警報、気象レーダー等）、雨量情報、土砂災害警戒情報、河川水位情報、河川カメラ情報等をリアルタイムで確認することができます。

- ▶検索サイト： 「おかやま防災ポータル」を選択
- ▶URL入力：<https://www.bousai.pref.okayama.jp/>



○Yahoo! 防災速報アプリ

アプリをインストールしておく、緊急地震速報や豪雨予報をはじめ、さまざまな災害情報をプッシュ通知でいち早くお知らせします。

[iOS/Android 共通]



○X（旧Twitter）岡山県防災@okayama_bousai

県内の災害、防災に関する情報などを発信します。

[フォローはこちらから]



用語集

き

○共助

自治会や町内会といった地域の人々などがお互いに助け合うこと。

○緊急安全確保

災害が発生、または切迫しており、居住者等が身の安全を確保するために避難場所等へ避難することがかえって危険であると考えられる状況において、いまだ危険な場所にいる居住者等に対し、ただちに命を守る行動をとるよう、市町村長が特に促したい場合、必要と認める地域の居住者等に対し、発令される避難情報であり、警戒レベル5に該当する。

こ

○公助

国、県、市町村、消防機関、都道府県警察、自衛隊等の公的機関による支援のこと。

○高齢者等避難

災害が発生するおそれがあり、災害リスクのある区域等の高齢者等が危険な場所から避難すべき状況において、市町村長から必要な地域の居住者等に対し、発令される避難情報であり、警戒レベル3に該当する。

高齢者等避難が発令された場合、高齢者等だけでなく、高齢者等以外の方も必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、避難の準備を始めたりするなど、危険を感じたら自主的に避難することが望ましい。

○個別避難計画

高齢者や障害のある方のうち、避難場所等に自力で避難することが困難な避難行動要支援者一人ひとりに応じて作成する避難支援のための計画。

さ

○災害図上訓練（DIG）

Disaster（災害）Imagination（想像）Game（ゲーム）の頭文字を取って名づけられたもの。大きな地図を参加者で囲み、地域の危険箇所や避難経路、防災関連施設などを地図に書き込み、災害に対する強みや弱み、対策等を議論することで、災害時の具体的な行動を検討するための訓練。

し

○自助

自らが災害に対する意識を高め、事前に備え、身を守ること。

す

○図上訓練

防災訓練のうち、現場での各種訓練行動等は行わず、ロールプレイング方式により、訓練者に一定の条件を付与することで応急対策業務の判断調整能力を高めるための訓練。

た

○タイムライン

災害時に発生する状況をあらかじめ想定し共有した上で、「いつ」「誰が」「何をするか」に着目し、行動と主体を時系列に整理した防災行動計画。

（マイ・タイムライン）

住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、台風の接近による大雨で河川水位が上昇するときなどに、自分自身がとるべき防災行動を時系列に整理したもの。

ち

○地域コミュニティ

町内会や自治会など、一定の地域に居住し、生活地域や特定の目標、特定の趣味といった何らかの共通の属性及び仲間意識を持ち、相互に交流を行っている集団や団体を指す。

近年は、マンションの増加や転勤の増加等で町内会や自治会への加入者が減少し、地域コミュニティの範囲やその活動に変化が生じており、防災分野に関しては、マンションの居住者が独自の防災活動の計画を作成するケースもみられる。

○地域防災力

住民一人ひとりだけでなく、自主防災組織などの地域コミュニティや市町村といった様々な主体が連携・協働して取り組む地域の防災減災に向けた体制や能力をいう。

○地区防災計画

自分達の命と地区を守るため、地区の居住者の方々や事業所自身が、災害に対する備えと自発的な行動を検討し、みんなで共有しておきたい共通のルールや防災活動を紙や冊子にまとめたもの。

東日本大震災では、地震や津波により、市町村の行政機能が麻痺した一方で、地域住民による自助、地域コミュニティにおける共助が避難所運営等において重要な役割を果たし、その教訓を踏まえて平成 26 年に地区防災計画の制度が創設された。

は

○ハザードマップ

災害による被害を予測し、被害範囲を地図化したもので、予測される災害の発生地点、被害の拡大範囲やその程度、避難経路、指定緊急避難場所、指定避難所等の情報を図示している。市町村が作成し、住民に配付したり、ホームページ等で公開している。

ひ

○避難行動要支援者

要配慮者のうち、自力での避難が困難であり、避難のために特に支援を必要とする方。略して要支援者と言う。

○避難指示

災害が発生するおそれが高く、災害リスクのある区域の居住者等が危険な場所から避難すべき状況において、市町村長から必要と認める地域の居住者等に対して発令される避難情報であり、警戒レベル4に該当する。

○避難所

(指定避難所)

災害の危険性があり、または、災害による家屋等の倒壊等で住み続けることが困難になった避難住民等を、災害の危険性がなくなるまでの必要な間、一時的に滞在させるための施設で市町村が指定する。避難者に対し、食料等の救援物資を提供する。

(指定福祉避難所)

高齢者、障害のある方、妊産婦、乳幼児など一般の避難所では生活に支障を来す方を対象にした避難所。障害者用のトイレやスロープ、手すりの設置など、福祉的な配慮がなされた設備がある施設で市町村が指定する。高齢者福祉施設や障害者支援施設などが指定されることが多い。なお、指定福祉避難所は災害時に必ず開設されるとは限らない。



○避難所運営ゲーム（HUG）

避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また、避難所で起こるさまざまな出来事にどのように対応していくかを模擬体験するゲーム。

避難所運営ゲームは、Hinanjo（避難所）Unei（運営）Game（ゲーム）の頭文字を取って名づけられたものであり、みんなで避難所運営について考えるためのツールとして静岡県が開発した。

○避難場所

（指定緊急避難場所）

災害が発生し、または発生するおそれがある場合、生命の安全確保のため、緊急的かつ一時的に避難する場所や施設のこと（例：学校のグラウンドや公園等）。市町村が災害種別ごとに指定する（例：洪水や地震等）。

よ

○要配慮者

災害時の避難や避難生活において特に配慮を必要とする方。

（例）高齢者、障害のある方、妊産婦、乳幼児、外国人等



わ

○ワークショップ

参加者が議論や意見交換を通じて解決策などをまとめていく取組であり、多くの関係者が参加し、自由に発言することにより、多様な意見を表出・集約できるというメリットがある。一方で、議論が拡散し、思うように進まないこともあるので、行政関係者、学識経験者等の専門家といった外部人材にファシリテーターとして参加してもらうことが有用である。

また、防災を検討する時には、災害図上訓練（DIG）を取り入れたワークショップが実施されることがある。



地区防災計画等についてもっとよく知る

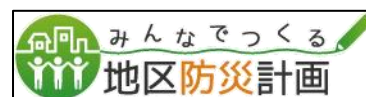
地区防災計画等について、詳しく知りたい方へ！



[国関係]

■ みんなでつくる地区防災計画（内閣府）

地区防災計画に関するイベント情報などが掲載されています。



[みんなで作る地区防災計画](#)

[検索](#)

■ 地区防災計画作成ガイドライン（内閣府）

地区居住者等が、地区防災計画について理解を深め、地区防災計画を実際に作成したり、計画提案を行ったりする際に活用できるように、制度の背景、計画の基本的な考え方、計画の内容、計画提案の手續、計画の実践と検証等について説明しています。



[地区防災計画作成ガイドライン](#)

[検索](#)

■ 地区防災計画の素案作成支援ガイド（内閣府）

地方公共団体の職員が、地区防災計画をより理解し、その実施の取組を支援できるよう、これまで職員から受けた地区防災計画に関する質問を踏まえ、職員が抱きやすい疑問等に答えるものです。



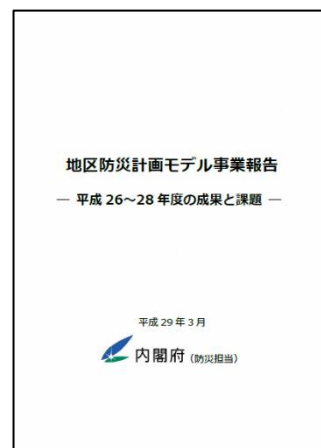
[地区防災計画の素案作成支援ガイド](#)

[検索](#)

■地区防災計画モデル地区の取組（内閣府）

地区防災計画制度を広く全国に展開させる観点から市町村と連携してコミュニティレベルで防災活動に取り組んでいる地区（モデル地区）を選定し、地区防災計画の作成や防災訓練等の支援に取り組んでいます。

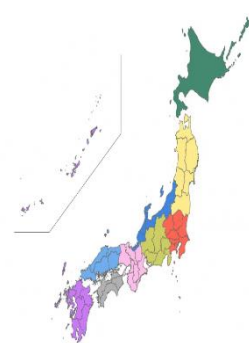
[地区防災計画モデル地区の取組](#) [検索](#)



■地区防災計画ライブラリー（内閣府）

地区防災計画の策定に向けた活動を促進するため、これから地区防災計画の策定を目指す方々や、既に策定された地区防災計画の更なる改善を目指す方々に向けて、地域別・テーマ別の地区防災計画や策定に向けたストーリーなどの資料を掲載したものです。

[地区防災計画ライブラリー](#) [検索](#)



関心のある地域を日本地図からクリック

■マイ・タイムラインの作成（国土交通省中国地方整備局）

“逃げ遅れゼロ”の効果が期待される時系列の防災行動計画「マイ・タイムライン」の作成支援ツールや作成手順を掲載しています。

[マイ・タイムライン](#) [国土交通省中国地方整備局](#) [検索](#)



■ハザードマップポータルサイト～身の回りの災害リスクを調べる～（国土交通省）

防災に役立つ様々なリスク情報を1つの地図上に重ねて表示できる「重ねるハザードマップ」と、全国各市町村のハザードマップを検索できる「わがまちハザードマップ」を利用でき、防災に役立つ情報やハザードマップをより便利により簡単に活用できます。

[ハザードマップポータルサイト](#) [国土交通省](#) [検索](#)



[岡山県関係]

■岡山県地区防災計画等作成推進協議会（危機管理課）

平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、地域防災力の向上を図るため、地区防災計画及び個別避難計画の作成の推進を目的に「岡山県地区防災計画等作成推進協議会」を県と県内全市町村で設置し、これまでに県内8地区で地区防災計画作成の取組を支援してきました。

今後も、計画作成の過程やノウハウ等を共有することで全県的に広がるように取り組んでいきます。



[岡山県地区防災計画等作成推進協議会](#) [検索](#)

■おかやま全県型統合GIS（岡山県）

岡山県では、土砂災害警戒区域等の防災情報を地図データで公表しています。

例えば、土砂災害警戒区域等については、「おかやま全県統合型GIS」→「防災情報」→「土砂災害警戒区域・特別警戒区域情報」から確認できます。

[おかやま全県統合型GIS](#) [検索](#)

■浸水想定区域図等（河川課ほか）

岡山県では、災害種別ごとに浸水等が想定される区域を示す浸水想定区域図等を作成し、公表しています。市町村は、この浸水想定区域図等をもとに避難に関する情報をとりまとめたハザードマップを公表しています。

- 洪水による浸水の発生が想定される区域
洪水浸水想定区域図（岡山県河川課）
- 土砂災害のおそれのある区域
土砂災害警戒区域等（岡山県防災砂防課）
- 高潮による浸水が想定される区域
高潮浸水想定区域（岡山県防災砂防課）
- 津波による浸水の発生が想定される区域
岡山県津波浸水想定について（岡山県危機管理課）

■岡山県防災マップ（危機管理課）

洪水、土砂災害、地震による危険度情報や市町村のハザードマップ一覧を掲載しています。

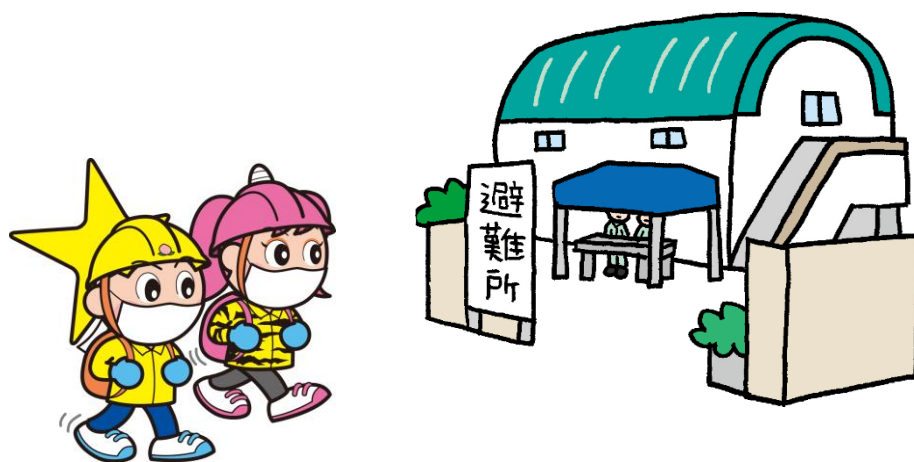
■おかやま防災ポータル（危機管理課）

県内の気象情報や雨量情報等をリアルタイムで調べることができます。

地区防災計画に関する市町村窓口

（令和5年3月現在）

No	市町村	担当部署	電話番号
1	岡山市	危機管理室	086-803-1082
2	倉敷市	防災推進課	086-426-3131
3	津山市	危機管理室	0868-32-2042
4	玉野市	危機管理課	0863-32-5560
5	笠岡市	危機管理課	0865-69-2222
6	井原市	危機管理課	0866-62-9550
7	総社市	危機管理室	0866-92-8599
8	高梁市	防災復興推進課	0866-21-0246
9	新見市	総務課危機管理室	0867-72-6205
10	備前市	危機管理課	0869-64-1809
11	瀬戸内市	危機管理課	0869-22-3904
12	赤磐市	くらし安全課	086-955-2650
13	真庭市	危機管理課	0867-42-1126
14	美作市	危機管理室	0868-72-1111
15	浅口市	くらし安全課	0865-44-9006
16	和気町	危機管理室	0869-93-1123
17	早島町	総務課	086-482-0611
18	里庄町	総務課	0865-64-3111
19	矢掛町	総務防災課	0866-82-1010
20	新庄村	総務企画課	0867-56-2626
21	鏡野町	くらし安全課	0868-54-2621
22	勝央町	総務部	0868-38-3111
23	奈義町	総務課	0868-36-4111
24	西粟倉村	総務企画課	0868-79-2111
25	久米南町	総務企画課	086-728-2111
26	美咲町	くらし安全課	0868-66-1112
27	吉備中央町	総務課	0866-54-1313



岡山県危機管理課

〒700-8570 岡山市北区内山下二丁目4番6号

TEL : 086-226-7562 FAX : 086-225-4559

作成日 : 令和6年3月